

協会ニュース



2021

障害を持つ方の高齢化について

当然のことだが、障がいを持つ方々も高齢化している。

国は、「今まで住み慣れた環境で暮らし続けることを希望される方は、その思いが実現するように支援すべき」と言っている。

一方で、高齢者支援を担う介護保険分野は、需要と供給のバランスが少しずつ崩れてきており、障害を持つ方が介護保険分野のサービスを受けることについて、さらに検討を進めねばならない状況である。

障害を持つ方々は高齢化に伴い疾患に罹る可能性も高まり、当協会のグループホームでも、最近は様々な疾患で入院治療せねばならなくなった方が増えている。例えば、ストレスに弱い、運動量が少ない、偏った食生活や生活習慣などにより、歩行や体幹への影響や内臓疾患に至ってしまうこともあるようだ。



特に、精神や知的の障がいを持つ方々は、感覚の鈍さから症状に気づくのが遅れたり、気づいてもそれを疾患につなげて考えるまでに至らない、または気づいたことを言葉にして訴えることが苦手なために治療につながるのが遅れてしまうことも多いようだ。

我々支援者も、できるだけ小さな変化に気づくこと、訴えてもらいやすい関係を築くことが必要だが、なかなか十分ではない。

医療体制としても、総合病院の中に精神科を有するような医療機関は他科との連携がとりやすいと思うが、必ずしもそういう環境が整っているわけではないのが現状である。

上記の傾向からも、グループホームのように生活全般の支援を行う事業所では、精神や知的の障がいを持つ方々に対しても身体疾患や身体的機能障害に対する支援量の多さが顕著になってきており、介護保険分野の支援を受けられた方がより良いと思われることも増えている。

しかし、グループホームでの支援を受けている方は、かなり身体機能が低下してからでないと特別養護老人ホームの入所基準に達しない傾向がある。

グループホームでは、原則として「サービス提供拒否の禁止」であり、障害の程度や年齢にかかわらず、どんな障害の方でも支援を行うことになっている。

我々支援者は様々なニーズに応えられるように支援体制を整えていかねばならないが、全てを自分たちで行えるわけではない。

それぞれの専門性が協力し合って、支援を充実させていけるよう協力し合いたい。(事務局)

今年一年
お世話になりました



エンジョイ通信



ジョイバザー開催



～ジョイバザー 10月22日～

ジョイ3でバザーを開催しました。協会の職員さんにもご協力いただき、
 雑貨や衣類を沢山集めることができました。ありがとうございました。
 開店と同時に商品も瞬く間に売れ、帰りにハズしなしのくじ引きをして、
 笑顔で帰っていきました。みなさん楽しい時間を過ごすことができたようです。

(*^o^*)



By 9930KA

